



SAKURANOMIYA HIGH SCHOOL
90TH ANNIVERSARY

創立90周年記念誌

大阪市立桜宮高等学校

目 次

校舎遠景	1
校舎玄関・校旗・校歌	2
挨拶・祝辞	4
写真でつづる10年	8
1997～2006（平成8～平成17年度）	
スポーツ健康科学科設立と今後	28
一期生の思い出	
思い出の桜宮高校	30
旧職員・体育科・普通科	
クラブ活動の状況	32

資 料

現教職員一覧	39
歴代校長	40
教育課程・年間行事	42
進路状況	44
卒業者数の推移	45
校舎配置図・設備	46
編集後記	48

SAKURANOMIYA HIGH SCHOOL 90TH ANNIVERSARY

創立90周年記念誌



大阪市立桜宮高等学校



校訓 知性 敬愛 活力

校歌

作詞 服部 信子
作曲 平田 美男

妙に巡る梅宮

と月の流れ淀のぼうへ

知恵あらかじめ

真理の道を究めんと

若さのものごとふ

榮あれやくよし自由の学園

空は鮮く梅宮

みゆく青き生物館のそみ

みこゆにやに

善美つやにやえと

若さうほの燃ゆ

榮あれやくよし平和の学園

園は重音梅宮

みゆく青き生物館のそみ

意氣厚くや

自主の輪を固めんと

若さうほのあくら

原あれやくよし理想の学園







祝　辞

大阪市長
關　淳一



祝　辞

大阪市教育委員会
教育長
永田祥子

大阪市立桜宮高等学校の創立90周年を心からお喜び申しあげます。

本校は、大正5年に北区実科女学校として創立され、昭和23年、大阪市立桜宮高等学校となり、激動の時代に幾多の困難を乗り越え、特色ある高等学校教育の実践とその進展に力を注ぎ、着実に発展を遂げてまいりました。

今まで前途有為の優れた人材を世に送り出し、ここに記念すべき90周年を迎えることは誠に意義深く、歴代校長先生、教職員の皆様のご尽力、PTA、地域、後援会、同窓会の皆様方の多年にわたるご支援、ご協力に深く敬意を表し、感謝申しあげる次第であります。

社会のあらゆる分野でグローバル化が進み、少子高齢化が都市や地域にさまざまな影響を及ぼす中、大阪市では、時代の変化に的確に対応し、これからの大坂の持続的な発展と市民生活の質の向上を図るために、内外から多くの人・もの・情報が集まり、新しい文化や産業を生み出す「創造都市」の実現をめざしております。

このような大阪のまちづくりの基礎となるのは教育であり、教職員をはじめ関係の皆様方には、次代を担う創造性豊かな人材育成のために、今後とも一層のご尽力を賜りますようお願い申しあげます。また、生徒の皆さんには、諸先輩が築かれた輝かしい歴史と伝統のもと、充実した学校生活を送られることを期待申しあげます。

創立90周年を機として、桜宮高等学校がますます発展されますよう、また、皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申しあげまして、お祝いのことばといたします。

大阪市立桜宮高等学校の創立90周年を心からお慶び申しあげます。

本校は、大正5年、北区実科女学校として創立されて以来今日まで、激動する社会情勢のなか、多くの困難に打ち克ち、立派な伝統を築いてこられました。この間、桜宮高等学校の発展のためひたすら情熱を傾けてこられました歴代の校長をはじめ、教職員の皆様方、並びに常に力強いご支援・ご協力を賜りましたPTA・後援会・同窓会等、関係の皆様方に心から敬意を表します。

さて今日、社会・経済の急速な発展と変革は、学校教育に対する期待や希望にも大きな変化をもたらしており、特に、高等学校に学ぶ生徒たちには、社会の変化に対応することのできる力と、将来の社会人としての自覚を身につけることが求められています。

このような中、大阪市教育委員会では、新しい時代に対応する大阪らしい教育の創造に向けて、未来に向けてたくましく生きる「なにわっ子」の育成をめざし、豊かな人間性をはぐくむ教育、社会の変化に対応する教育、大阪らしさを生かした教育を推進しています。とりわけ高等学校教育においては、時代のニーズにこたえるため、専門化・特色化をすすめており、その先駆けとして、桜宮高等学校では、昭和55年度に体育科を新設、平成11年度にはスポーツ健康科学科も開設して、多くの優秀な人材を輩出し、社会に大きく貢献されてきました。今後とも、諸先輩が築かれてきました立派な伝統を引き継がれ、日々の教育活動に一層邁進されるよう、期待いたします。

最後に、創立90周年を契機として、桜宮高等学校が今後ますます発展されることを祈念いたしますとともに、学校関係者の皆様方をはじめ地域の皆様方の本市の教育行政に対するより一層のご支援ご協力をお願いいたします、お祝いのことばといたします。



創立90周年を 祝して

学校長

栗山 善男

本校は大正5年「北区実科女学校」として現在の天満橋1丁目に開校しました。その後、昭和2年「大阪市立実科高等女学校」、昭和9年「大阪市立桜宮高等女学校」、昭和23年の学制改革により「大阪市立桜宮高等学校」となり現在に至っております。国の重要文化財に指定されている「泉布観」を講堂として使用していた歴史ある本校が昭和20年の校舎焼失により学校を転々とする苦難の途を歩み続けることになりました。昭和30年念願かなってここ毛馬の地に新校舎を竣工し3年生の授業が開始され、その2年後には全校生徒が移転し盛大に創立40周年記念式典が挙行されました。「本校が創立40周年の式典を挙げることの意味は、本校が歩み続けて来た歴史を回顧し、そこに流れる精神を受けつぎ、現在置かれている立場を認識し、これを契機として、一層本校の校風を發揮し、将来に向かって発展して行こうとするにある。」と当時の佐々木茂八校長先生が本校第二の誕生の時としてその感激を記しておられます。先人の筆舌に尽くしがたい苦労と多大な功績に頭を垂れずにはおられません。しかし、その校舎もこの10年の間に堂々たる本館校舎に建て替わり、また、平成11年の「スポーツ健康科学科」設置に伴うアリーナなど全国に誇る体育施設も整いました。まさに90年の歳月を感じるのみであります。

90年の歴史を誇る「普通科」、数々のトップアスリートや指導者を輩出してきた「体育科」、スポーツ医科学分野のパイオニアである「スポーツ健康科学科」、それぞれの学科に学ぶ生徒たちが一致団結して本校の輝かしい歴史を引き継いでくれることを願っています。

今後とも、本校発展のため教職員ともども全力を尽くす所存でございますので関係の皆様方の一層のご指導とご支援をお願いいたしましてご挨拶といたします。



創立90周年を 迎えて

記念事業実行委員会委員長
後援会会长

松本 健史

本校は、大正5年北区実科女学校として創立されて、創立90周年を迎えたことに心からお慶び申しあげます。

大正5年「北区実科女学校」として創立されて以来、「大阪市立実科高等女学校」「大阪市立桜宮高等女学校」そして、戦後の学制改革により「大阪市立桜宮高等学校」となり、その発展はすばらしいものがあります。

なかでも、昭和55年度には大阪府内公立高校初の体育科が新設され、つづいて平成11年度にはスポーツ健康科学科が新設され文武両道の多くの優秀な人材を輩出し、社会に大きく貢献されてきました。これもひとえに、歴代の校長先生をはじめ教職員の皆様方やPTA・一葉会(同窓会)・後援会等本校関係団体の皆様方の教育に対する熱意と献身を集め、よりよき教育環境を整えられた賜物と歓喜にたえません。特に、本年6月には、全普通教室に空調機が設置され教育環境がことのほか改善されました。また、柔道場の骨も更新されました。

今後とも、すばらしい校風と伝統を育んでこられた諸先輩たちが築かれてきました立派な伝統を引き継がれまして、日々の教育活動に一層邁進されることをお願いいたします。PTA・一葉会(同窓会)・後援会等本校関係団体といいたしましても、今後とも本校教育発展のために協力を惜しまぬ所存です。

終わりになりますが、創立90周年を契機として、桜宮高等学校が今後ますます発展されまして10年後には、記念すべき100周年がますます盛大に迎えられますことを祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。



創立90周年を 迎えて

PTA会長
朴 井 雅 博

この度は、創立90周年を迎える心からお慶び申しあげます。創立90周年を迎える節目の折、桜宮高等学校PTA会長という大役を仰せつかり、私自身誠に光栄のいたりでありますとともに、その重責に身の引き締まる思いです。

これまで本校の伝統を支え築きあげて頂いた歴代の校長先生や諸先生方、後援会・一葉会（同窓会）・歴代のPTA関係の皆様並びに本校保護者の皆様に心から感謝し、お礼を申しあげます。そして、本校で学んでこられた方々にはさぞ懐かしい思い出をお持ちのことと拝察いたします。10年前に発行された記念誌を拝見する機会を得ました。そこには、今まで歩んでこられた当校の歴史が見事に描かれています。

当校は、大正5年桜宮橋西詰泉布観において「北区実科女学校」として創立されて以来、戦後の学制改革により「大阪市立桜宮高等学校」となり、昭和30年に現在の都島区毛馬町の地に分校として授業が開始されました。昭和55年度には大阪府内公立高校初の体育科が平成11年度にはスポーツ健康科学科が新設され、これまで以上に文武両道の多くの優秀な人材を輩出し社会に大きく貢献されてきました。本年6月には、全普通教室に空調機が設置されことどもたちの教育環境がことのほか改善されました。

これからも、すばらしい校風と伝統を育んでこられました諸先輩たちが築かれてきました立派な伝統を引き継がれまして、10年後の記念すべき100周年がのちの人々から高く評価されるであろうことを願っております。

最後になりましたが、創立90周年記念事業にあたり多くご尽力を賜りました90周年記念事業実行委員会の皆様そして関係者の皆様に深く感謝申しあげます。今後とも桜宮高等学校の発展とPTA活動へのご協力ご理解をお願いいたしましてお祝いのことばといたします。



創立90周年を 迎えて

一葉会会长
小 山 章 松

創立90周年を迎えるにあたり、同窓会（一葉会）を代表して、心より厚くお祝い申し上げます。

母校は大正5年4月、北区実科女学校として開校され、本年で90年の歴史と伝統が築かれてまいりました。

この間、戦後昭和23年には学校制度改革で、廃校の危機に見舞われましたが、関係各位の努力により、新制高等学校として男女共学となり、昭和55年には体育科設置、平成11年にはスポーツ健康科学科が設置され、大阪でも有数の高校に発展しております。これらは、歴代の校長先生や諸先生方の熱意あるご指導の賜物であり、長い間のご努力に対し心より敬意を表します。

現在、卒業生も2万人を超え、90周年の歴史の中ではじめて同窓から母校の校長先生が誕生し、社会で活躍している人材を多く輩出しております。

一葉会も、母校発展のために少しでも協力できますよう、組織強化を図り、役員一同協力したいと思っておりますので、これからも一葉会に対して変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、母校桜宮高等学校の益々の発展を祈念いたし、創立90周年のお祝いの言葉といたします。

一葉会とPTA・後援会

実科女学校の新設

北区財産区は、高等小学校の経営のほか、実科女学校の設立を検討していた。大正4年秋のご大典奉祝記念事業として、宮内省から同5年12月、泉布観の建物を無償で、敷地4,354坪(14,368m²)を138,000円で払い下げを受けた。泉布観はそれまで、大阪ホテルが貴賓接待のため借りていた。

昭和2年3月末の学区制の廃止のとき、北区実科女学校と泉布観は市に移管となった。高等小学校はそれより早く大正14年3月限りで廃止されているので、財産区は学校経営の仕事からすべて解放された。

『北区史』より抜粋

一葉会

一葉会初代会長の小野キクノ先生は、大正5年本校創立と同時に着任され、昭和27年に退職されるまで37年間の永きに亘って本校の教育に当たられました。

現会長の小山章松様は、平成11年度に野村宏正様より会長を引き継がれ現在に至っています。

PTAと後援会

昭和23年に結成されたPTAは、校舎復帰・独立校舎獲得・校地選定・教育環境整備等のため奔走尽瘁された。また年2回広報「桜宮」を発行し、保護者・教職員・生徒達の意見の発表の場を持ち、充実したPTA活動の一翼を担っている。

また、後援会（前身は桜友会）は、教育活動ならびに課外活動の振興に対する協力、教職員の厚生福祉の援助等の諸活動に献身的に協力され、本校教育発展に貢献している。

PTA会長（平成10年度以降）

平成10年度	堀川 清
平成11年度	井上 秀人
平成12年度	井上 秀人
平成13年度	澤田 平文
平成14年度	木村 光男
平成15年度	澤田 平文
平成16年度	久江 隆
平成17年度	松本 健史
平成18年度	朴井 雅博

後援会会長（第11代以降）

第11代	温水 厚子	(平成10.4～平成11.3)
第12代	堀川 清	(平成11.4～平成13.3)
第13代	井上 秀人	(平成13.4～平成15.3)
第14代	木村 光男	(平成15.4～平成16.3)
第15代	澤田 平文	(平成16.4～平成17.3)
第16代	久江 隆	(平成17.4～平成18.3)
第17代	松本 健史	(平成18.4～)

H8年度 担任一覧

学級	担任
1	西田 喜幸
2	木山 恵子
3	松田 敏朗
4	佐々木 真
5	小野 真紀男
6	秋山 雅善
7	黒田 康嗣
8	杉本 豊
9	中原 真理

一 学 年

学級	担任
1	松田 敏朗
2	佐々木 真
3	小野 真紀男
4	西田 喜幸
5	黒田 康嗣
6	秋山 雅善
7	木山 恵子
8	杉本 豊
9	中原 真理

三 学 年

学級	担任
1	松田 敏朗
2	佐々木 真
3	小野 真紀男
4	西田 喜幸
5	黒田 康嗣
6	秋山 雅善
7	木山 恵子
8	杉本 豊
9	中原 真理



H9年度 担任一覧

学級	担任
1	岡野 豊
2	高畠 和子
3	柿本 幸一郎
4	森本 彦治
5	河野 俊靖
6	山本 渉
7	森澤 和子
8	水谷 稔男
9	大前 浩文

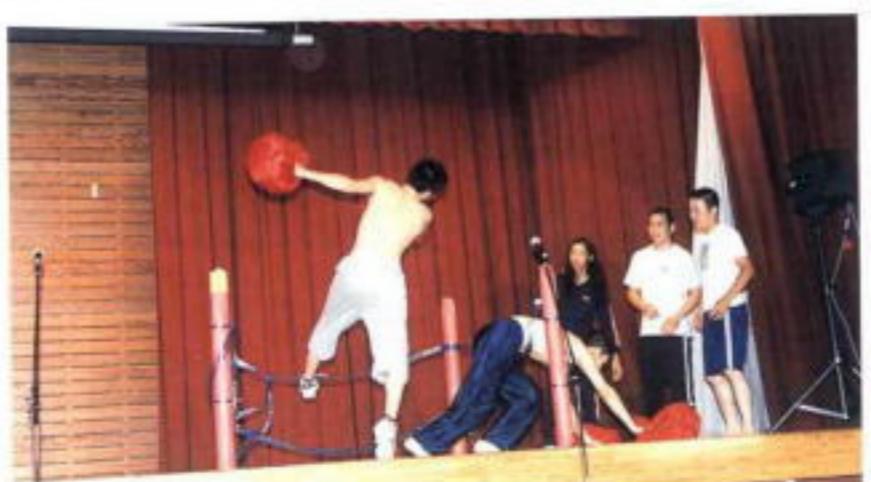
一 学 年

学級	担任
1	柿本 幸一郎
2	高畠 和子
3	芦田 利広
4	布施 真
5	安岡 博志
6	山本 渉
7	森澤 和子
8	水谷 稔男
9	大前 浩文

二 学 年

学級	担任
1	西野 純一
2	高畠 和子
3	芦田 利広
4	布施 真
5	安岡 博志
6	山本 渉
7	森澤 和子
8	水谷 稔男
9	大前 浩文

三 学 年



10

年度

1996.4～1999.3

H10年度 担任一覧

学級	担任
1	小村 基
2	樺島 一敏
3	吉信 幸江
4	小山城 二
5	川戸 せつ
6	寺井 勝彦
7	後藤 明朗
8	真鍋 浩一
9	谷口 賢次

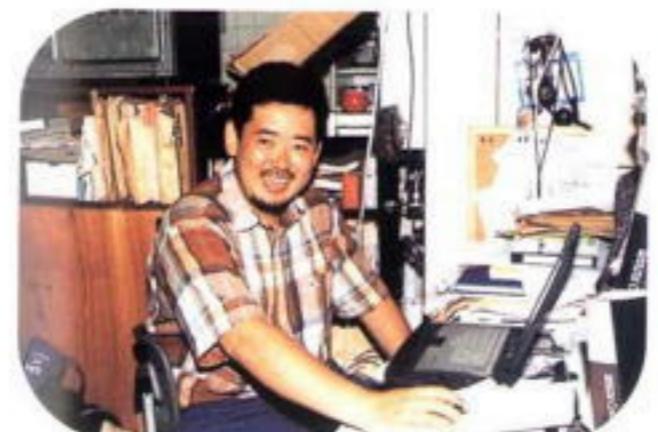
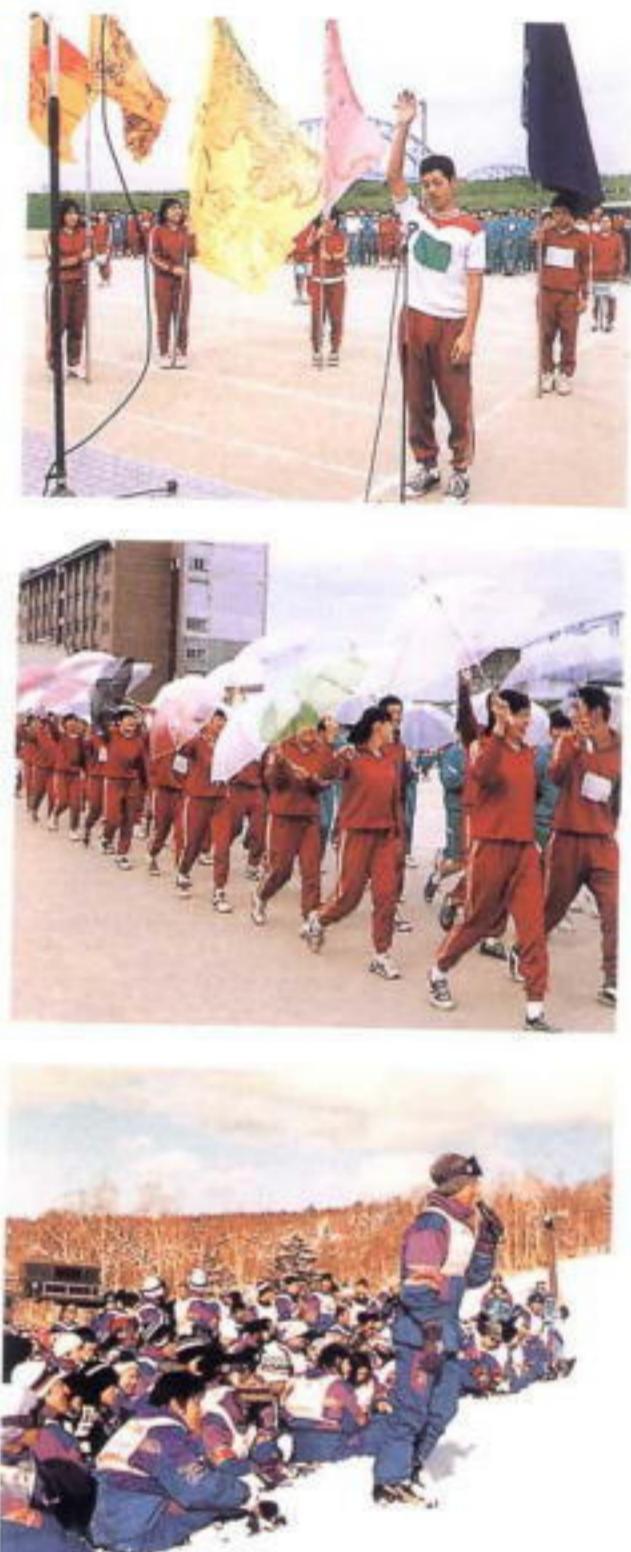
一 学 年

学級	担任
1	川戸 せつ
2	小山城 二
3	樺島 一敏
4	小村 基
5	後藤 明朗
6	寺井 勝彦
7	吉信 幸江
8	真鍋 浩一
9	谷口 賢次

二 学 年

学級	担任
1	川戸 せつ
2	小山城 二
3	樺島 一敏
4	小村 基
5	後藤 明朗
6	寺井 勝彦
7	吉信 幸江
8	真鍋 浩一
9	谷口 賢次

三 学 年



11

年度

1997.4～2000.3

H11年度 担任一覧

学級	担任
1	増田慶和
2	西村滋
3	雪永重夫
4	西村浩一
5	増田真理子
6	仲本進
7	濱田哲也
8	黒川和要

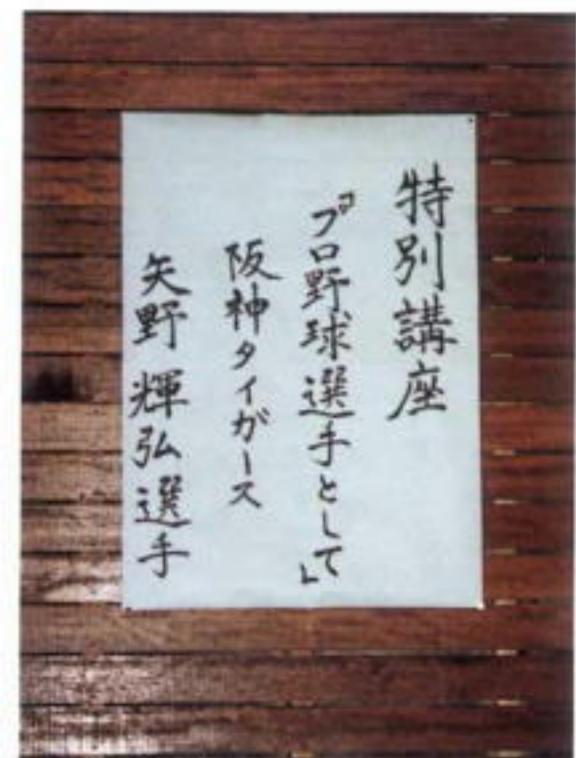
一 学 年

学級	担任
1	増田慶和
2	雪永重夫
3	仲本進
4	佐々木隆
5	増田真理子
6	西村浩一
7	濱田哲也
8	黒川和要

二 学 年

学級	担任
1	増田慶和
2	雪永重夫
3	仲本進
4	佐々木隆
5	増田真理子
6	西村浩一
7	濱田哲也
8	黒川和要

三 学 年



12

年度

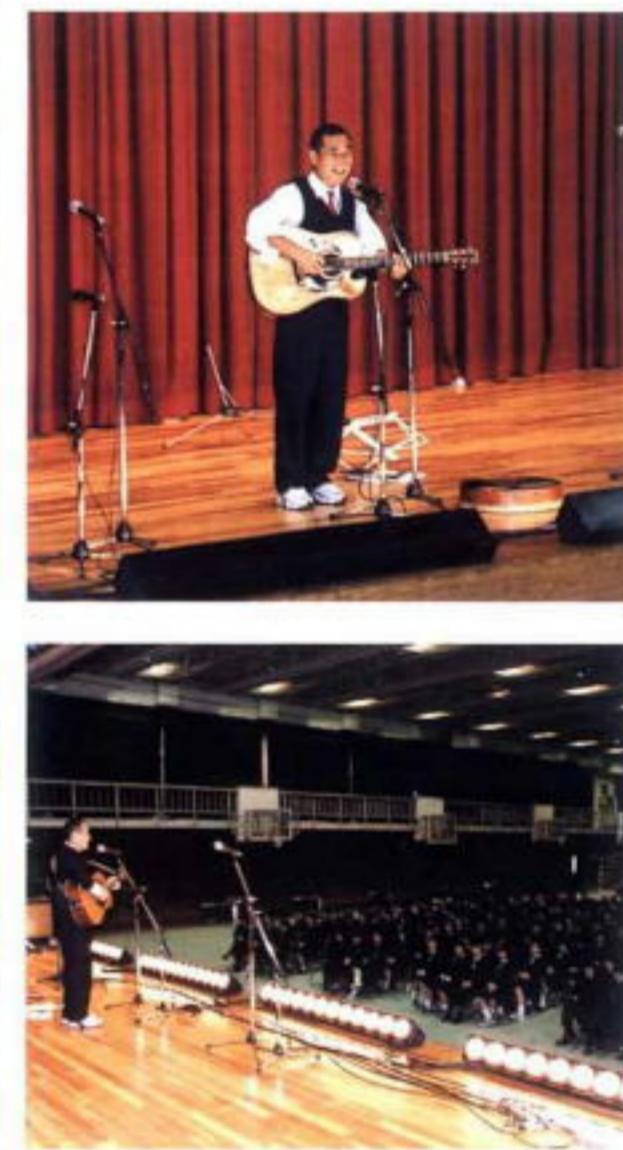
1998.4～2001.3

H12年度 担任一覧

学級	担任
1	山 烟 年 史
2	池 永 良 三
3	松 田 敏 朗
4	河 島 政 春
5	石 井 正
6	杉 本 豊
7	田 中 武 志
8	龍 田 英 和

学級	担任
1	山 烟 年 史
2	池 永 良 三
3	松 田 敏 朗
4	河 島 政 春
5	石 井 正
6	杉 本 豊
7	田 中 武 志
8	龍 田 英 和

学級	担任
1	山 烟 年 史
2	池 永 良 三
3	齊 藤 和 彦
4	河 島 政 春
5	石 井 正
6	濱 田 哲 也
7	田 中 武 志
8	龍 田 英 和



13

年度

1999.4～2002.3

H13年度 担任一覧

学級 担任

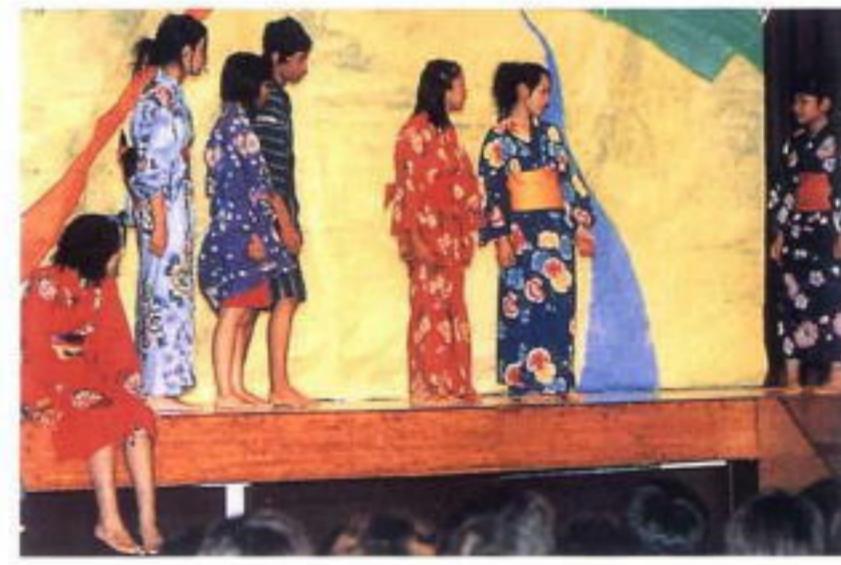
1	溝口 勇生
2	庄司 美千代
3	上田 喜一
4	柿本 幸一郎
5	足立 敬喜
6	長沼 康治
7	布施 真
8	中原 真理

学級 担任

1	足立 敬喜
2	庄司 美千代
3	上田 喜一
4	柿本 幸一郎
5	溝口 勇生
6	長沼 康治
7	布施 真
8	中原 真理

学級 担任

1	足立 敬喜
2	庄司 美千代
3	上田 喜一
4	柿本 幸一郎
5	溝口 勇生
6	長沼 康治
7	布施 真
8	中原 真理



14

年度

2000.4～2003.3

H14年度 担任一覧

学級	担任
1	萩中 俊彦
2	森澤 和子
3	樺島 一敏
4	山中 みどり
5	真鍋 浩一
6	安岡 博志
7	秋山 雅善
8	小村 基

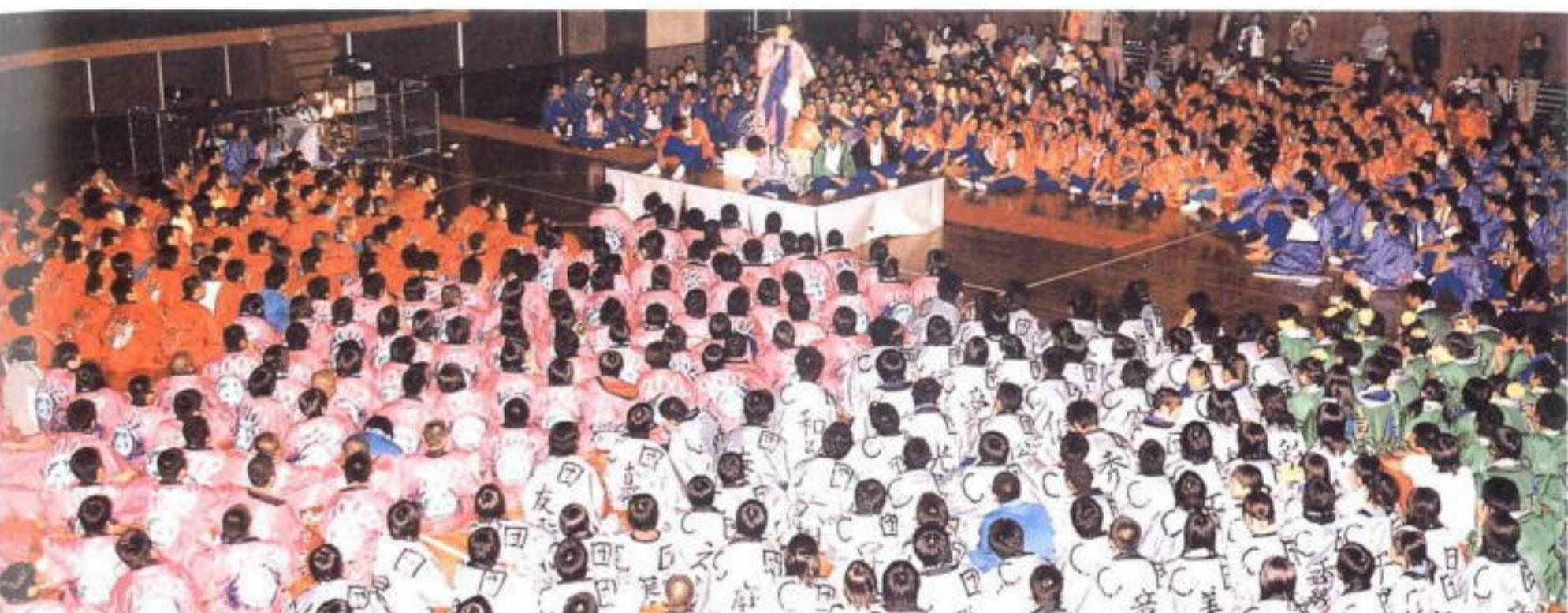
一 学 年

学級	担任
1	萩中 俊彦
2	森澤 和子
3	樺島 一敏
4	真鍋 浩一
5	山中 みどり
6	小村 基
7	安岡 博志
8	秋山 雅善

二 学 年

学級	担任
1	萩中 俊彦
2	樺島 一敏
3	森澤 和子
4	山中 みどり
5	真鍋 浩一
6	安岡 博志
7	秋山 雅善
8	小村 基

三 学 年



15

年度

2001.4～2004.3

H15年度 担任一覧

学級	担任
1	甲斐 透
2	高垣 伊津子
3	前田 裕司
4	菅沼 佐知子
5	西村 浩一
6	西田 喜幸
7	齊藤 和彦
8	河野 由起子

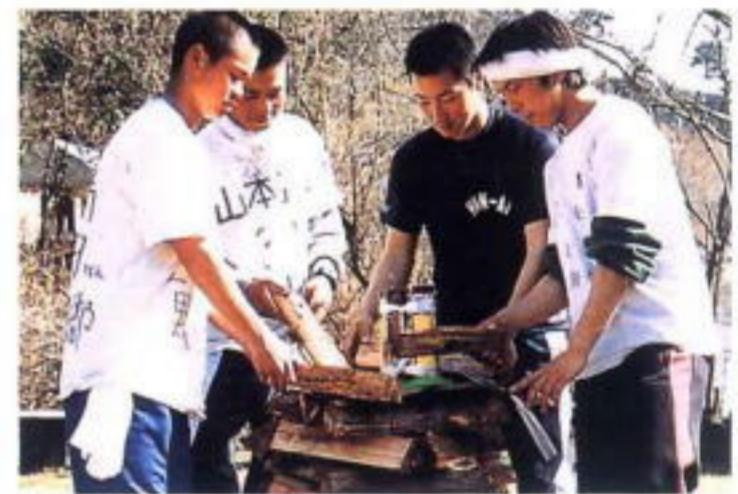
一 学 年

学級	担任
1	菅沼 佐知子
2	高垣 伊津子
3	前田 裕司
4	大槻 卓男
5	西村 浩一
6	甲斐 透
7	河野 由起子
8	西田 喜幸

二 学 年

学級	担任
1	西村 浩一
2	高垣 伊津子
3	大槻 卓男
4	菅沼 佐知子
5	前田 裕司
6	甲斐 透
7	河野 由起子
8	西田 喜幸

三 学 年



16

年度

2002.4～2005.3

H16年度 担任一覧

学級	担任
1	田淵 幸男
2	福井 秀起
3	南 佳奈子
4	寺井 勝彦
5	川下 康男
6	小島 浩
7	足立 敬喜
8	大前 浩文

一 学 年

学級	担任
1	田淵 幸男
2	川下 康男
3	福井 秀起
4	寺井 勝彦
5	南 佳奈子
6	大前 浩文
7	足立 敬喜
8	小島 浩

二 学 年

学級	担任
1	安岡 博志
2	川下 康男
3	田淵 幸男
4	寺井 勝彦
5	南 佳奈子
6	大前 浩文
7	足立 敬喜
8	小島 浩

三 学 年



17

年度

2003.4～2006.3

H17年度 担任一覧

学級 担 任

1	済田 哲也
2	市村 浩隆
3	宮 泉
4	新居 幸雄
5	山本 幸治
6	芦田 利広
7	森脇 哲郎

一 学 年

学級 担 任

1	宮 泉
2	済田 哲也
3	山本 幸治
4	新居 幸雄
5	森脇 哲郎
6	芦田 利広
7	市村 浩隆

二 学 年

学級 担 任

1	宮 泉
2	済田 哲也
3	庄司 美千代
4	新居 幸雄
5	森脇 哲郎
6	芦田 利広
7	山本 幸治

三 学 年





スポーツ健康科学科の設立と今後について

体育科主任
小 村 基

平成6年度に桜宮高等学校に体育科教員として赴任した当時は、専門学科としてはすでに体育科が設置されており、多くの部活動が全国大会・近畿大会で活躍していました。また、卒業生においては、オリンピック選手やプロ野球選手などのトップアスリートと多くの体育・スポーツの指導者が育成されるなど、体育科設置校の目的を存分に發揮している学科でした。

その後、さらなる体育・スポーツの発展と寄与を目標に、平成9年より新学科を設置する委員会を設立しました。スポーツに対する夢と、スポーツを科学的にとらえ、サポートする人材育成を目標に数十回という委員会や職員会議を行いました。

ハード面では現在でも国内だけでなく、国外からも視察に来られるような高校日本一といつても過言ではないスポーツ科学関係の施設、設備を大阪市に設置していただきました。カリキュラムにおいては理系の選択幅を拡げ、サポートする人材育成のための進路に対応できるよう設定し、専門教科では教科書を教員の手作りで作成するなど新学科新設に備えました。そして、ついに大阪府下の中学校訪問など全教職員の協力のもと、平成11年に新学科を「スポーツ健康科学科」と名付け、スタートを切りました。

その後、数年がたち、高校、大学で競技者として活躍する人、卒業生も大学でさらにスポーツ科学を学ぶ人、理学療法士や鍼灸士、柔道整復士などの資格を習得しトレーナーの卵として現場で活躍する人などが数多く生まれました。設立当時の教員で描いていた「競技者、指導者、スポーツドクター、トレーナーなどを桜宮高校の卒業生が連携を持ってトップアスリートを育て、世界で戦いたい」という夢に一歩一歩近づいているような気がします。10年、20年、30年後の桜宮高等学校が楽しみです。



一期生の思い出

スポーツ健康科学科1期生
早稲田大学

北島 勇也

校歌を口ずさみながら、おもむろに卒業アルバムを開いて懐かしき高校時代に浸っていると、見慣れたはずの校訓「知性・敬愛・活力」を目にして、クスッと笑ってしまった。僕の愛する桜宮高校スポーツ健康科学科は、名声を誇っている体育科の「活力」を維持しつつ、「知性」との融合を試みた画期的なプロジェクトであり、誰もが憧れた夢の学科だった。僕はインテリの筋肉マンになれるという甘美な未来予想図を描いていた。

しかし、入学後数ヶ月、ふと気がつくと「活力」が大手を振って闊歩する世界に放り投げられていた。女の子はみなショートカット、男は大半が丸坊主。クラス全員が体育系のクラブに所属しなければならない。実習は山に、スキー場に、海へ行く。文明の利器溢れる医科学研究所にも行く。学園祭は大阪一の盛り上がりと感動。受験前にも命がけの合唱コンクール。専攻実技という授業科目では、授業中にもクラブ活動を行う。極めて動物的で肉体的で即物的な高校生活であり、現代のスタンダードな高校生とは逆行して、原始人のような生活を余儀なくされていた。

でも、そんな『活力』重視の桜宮だったからこそ鍛えられた能力が三つ。一つ目は「uniqueness&creativity(独自性)」である。アグレッシブな集団の中で如何に自分という存在を発信し、価値を見出せるか。二つ目は尋常ならざるクラブ活動と熱血先生方の御指導のもと身に付いた「toughness(粘り強さ)」。そして三つ目が「桜魂」というコトバに伝統として息づく「spirit(気迫)」。毎日が戦場の桜宮は、「将来何か成し遂げたい」と思った時に、必要かつ核心となる資質を開発する場であった。いわゆる「お勉強」をして即興的に綺麗な花を咲かせるのではなく、すぐには開花しないが、来るべき時のために太くゴツい根っこを張る作業を繰り返す。そんなステージだった。スポーツを科学的アプローチによって研究する学科で図らずもサイエンスよりアート、論理よりも情緒を学んだ。その予定調和でない学習の蓄積こそ僕が他人に誇れるバックグラウンドであり、自身のケイバビリティの源泉となっている。

今年で90年を迎える桜宮高校。変化の激しい時代だからこそ、変わらない桜宮で次世代を担う若者を育てて欲しい。「栄えあれ 我らが 自由の学園」よ、永遠に。



スポーツ健康科学科1期生
早稲田大学
松 南 洋



スポーツ健康科学科1期生
UCバークレー大学
ヌワニー・ジャヤラット

高校時代はクラブ活動中心の毎日。寝るためだけに家に帰ると言っても過言ではないハードな毎日でしたが、そういった中でだからこそ大切なことを学ぶことができたと思います。その中でも、特に「足るを知る心」「あきらめない心」ということは桜宮高校で得た大きな財産であり、今の私の根幹を成すものになっています。

私は高校時代、軟式テニス部に所属していましたが、顧問の佐々木隆先生には事あるごとに「足るを知る心」「感謝する心」ということを教えていただきました。厳しい練習が続く毎日の内で、「こんな苦しい思いをして自分は不幸なのでは」という考えが頭をよぎることもありました。しかし、よく考えると自分の好きなことに熱中できる環境というのは、それ以上に幸運なものです。「足るを知る」ということは、自分がどれだけ恵まれた環境にいるかを自覚し、感謝することだと理解しています。毎日、食べるものがあり、学ぶことができ、そして、自分の好きなことに力を注げる。それは、歴史的にも、世界的にも極めて恵まれている状態だと思います。そういったことを桜宮高校で学べたことは、今の私の大きな財産になっています。

そして、高校時代に学んだもう一つの大切なこと。それは、「あきらめない心」です。高い目標に挑戦することは勇気がいり、また、目標達成までの道のりには多くの障害物も出てくることでしょう。そして、実際に「失敗」することも多いと思います。しかし、そこで諦めずに成功するまで続けることができれば、そこに至るまでの「失敗」は、成功に至るステップにすぎず、決して失敗ではないと思います。私も、今までに多くの「失敗」をしてきました。しかし、今振りかえれば、それは物事を学ぶ過程にすぎなかったと思いますし、そのおかげで得たものも少なくありません。今の自分があるのもこの「あきらめない心」があったからだと思います。

私は、来年、学校を卒業し、社会に出ることになります。これまで、様々なものと交換してもらえて生きてきました。これからは少しずつでもその恩を社会に還元していくたいと考えています。最後になりましたが、創立90周年を迎えるにあたり、若輩者の私にこのような機会を与えてくださったことに感謝し、終わらせていただきたいと思います。

アメリカへ留学してから早四年過ぎた。今私は大阪から数千キロ離れたカリフォルニア州、フリーモントという町に住んでいる。この町はシリコンバレーの一部にあり、サンフランシスコに程近い。メルティングスポットとして世界に知られるカリフォルニア——ここでは世界各国の人々と出会い、違った文化の人々と話すことで、新しい価値観や考え方を見出すことができる。

しかし、様々な国の友達はいるが、今だに桜高生のように一発芸を瞬時にできる人種に出会ったことはない。現在学校行事を運営するアルバイトをしている。この仕事は、人前で堂々と話せるなどのリーダー性を要求され、もちろん遅刻は厳禁であり、土壇場での要領の良さも必要とされる。そんな中でやっている私の岡太い人間性は桜高生活で骨組みされたと言っても過言ではない。

中学生の頃内気だった私は、桜宮高校のことを良く知らぬまま入学した。入学してすぐに実施されたキャンプ実習。それはキャンプという楽しげな響きとはかけ離れた体験だった。連日の力仕事と意味のわからないまま何度も歌わされた校歌、あまりおいしかったとは言えないご飯。キャンプという言葉に心弾ませた自分がばからしく思えた。キャンプファイヤーの夜、あるゲームの中で生まれて初めて「負けた人は一発芸」というルールを耳にした。あれほど負けられないというプレッシャーがかかったゲームも珍しい。全然知らない同級生達が次々一発芸をしていく中で笑いが生まれ、親しみ、そして友情が深まった。私にとって高校3年間で築かれた友情や絆は計り知れず、4年以上たった今でも日本に帰ればスポ健や剣道部の仲間達に必ず連絡をする。

今年の秋からUCバークレー大学への編入が決まった。初めは絶対無理だろうと思ってギリギリまで願書を出す気さえなかった。ある日ふと顧問兼担任の長沼先生の言葉を思い出した。「どうせ行くんやったら一番ええとこ狙え!」かなりくさい話なのであまり人には言いたくなかったが、本当にこの言葉が私の背中を大きく押してくれた。桜高生活がなければきっとここまで来られてはいなかっただと思う。これほど人生に影響を与える学校生活は稀であり、私の誇りである。最後に私の大好きなフレーズを一言。

Challenge is sweet. Do you know what's sweeter?... Winning.

思い出の 桜宮高校



大阪市立汎愛高校
教諭
黒川 和要



大阪市教育センター
主任指導主事
小山城二

創立90周年おめでとうございます。私は体育科1期生入学年の昭和55年から保健体育の教員として勤務させていただきました。体育科設置に関する職員会議では種々紛糾もあったようですが、1期生入学後は日本一の体育科に育てていこうと全校あげて取り組んでいたように思います。特に体育の先生方の情熱と行動力には、大学を卒業したばかりの私にとっては驚きとわくわくすることの多い勉強になる毎日でした。競技実績を上げることは勿論ですが、桜宮高校体育科は指導者を育てる目標にしてきました。そのため進学できるカリキュラムと勉強する環境の整備を常に考え、文武両道を目指してきました。

その後、野球部が甲子園大会に出場するなど多くの運動部が近畿大会・全国大会で活躍し、体育教師も多く生まれました。さらに卒業生からはオリンピック出場を果たす者、プロ野球で活躍する者等、体育・スポーツの発展に寄与する選手、指導者が育っていきました。そして平成11年度には「スポーツ健康科学科」が設置され、さらに進化発展を続けるのです。

近年日本は世界最長寿国であり、また余暇の増大という社会的状況の中では「生涯スポーツ」「運動と健康」についての指導者及び研究者の需要が増してくるであろうこと、また、競技スポーツの普及発展に伴い、選手をサポートする医師、トレーナー、スポーツ科学者等の重要性が増してくるであろうこと、等を考えると体育系の高校として、将来の健康の分野、スポーツ科学の分野で活躍できる人材を育成することは意義深いものと思われます。「スポーツ健康科学科」の設置に全校あげて着手し、教育委員会の理解と協力のもと校舎改築にまで及ぶ施設・設備のハード面、学習内容・方法等のソフト面の充実を図ることとなります。オリンピックや世界選手権で選手、監督、スポーツ医、トレーナーが桜宮OBだったら面白いなあ、と想像します。このような時期に桜宮高校の一員であったことの喜びと誇りを感じて感謝しております。今後ますます発展し日本の体育・スポーツ界を支え貢献する桜宮高校であることを願います。

まさに「青春の夢舞台」でした。青春を謳歌することが誠に自然に感じられる空気が色濃く流れていきました。「桜高」では誰でもなんの衒いもなく素直に青春を謳歌し、表現できるのです。

舞台の主役は勿論、天真爛漫でエネルギーに満ち溢れた生徒です。渋い存在感のある脇役は個性的で情熱的な教師陣。けっして勞を惜しまない教師の情熱に、それ以上のエネルギーで応える生徒。熱く語りかければ互いに熱く応え合う生徒と教師。その、エネルギーの遣り取りと交感が校内のいたる所で、あらゆる場面で、展開されていたのです。それに、夕陽に映える淀川の川面や河川敷に象徴される恵まれた環境も、大切な舞台装置として挙げておくべきでしょうか。

生徒は間違いなく「桜高」で濃密な時空間を体験するのです。このことは昨今の風潮を想うと、とても特筆すべきことではないでしょうか。生徒にとって「桜高」は「密度の濃い主たる生活の場」なのです。友情を想い、人間を想い、人生を想って、悩みまた悦ぶのです。葛藤に苦しみ、また哀しみ、泣き笑うのです。気負いと焦り、自信と不安、背伸びしたがゆえの過ち、後悔とほろ苦さ、衝突と和解、そして温もりと絆…。青春ならではのドラマを、私は沢山目撃しました。今、改めて想います。「桜高での17年間は、私にとってもまた、自らの青春時代の歩み直しの期間だったのだ」と。何度も心の深い部分を揺さぶられ、感激の涙を流したことでしょう。そして更に素晴らしいと思うのは、来訪された保護者の方もその都度、自らの青春を体験されることです。自らも青春時代の生き直しをされるのです。そういう光景を私は幾度となく見てきました。

足を踏み入れた殆どの者にとって、「桜高」は「青春の夢舞台」となるのです。その時空間を体験した者は、心の深い部分を揺さぶられ、大切なものを数多く心に抱き得るのです。そして、だからこそ、その後に続く心豊かな人生への門を開けることができるのです。私は切に願います。これからもずっと「桜高」が多くの人にとって、「青春の夢舞台」であり続けることを。私にとって「桜高」は、第二の母校に違いありません。



体育科平成13年度卒
大阪市立文の里中学校
教諭
高木友理



普通科平成16年度卒
常磐会短期大学
樋野菜実

私の在学していた3年間も、90年の中で考えるほんの少しの間なのだと思いますが、私にとっては、桜宮高校で過ごした1日1日は本当に濃く、充実したものでした。

入試はあられが降り、「ボタッ。ガツッ。」と激しい天候の中での筆記試験でした。不思議と午後からの専門の実技試験は、天候が回復していたのを覚えています。今思えば、スタートから平凡な高校生活ではなかったのかもしれません。

入学後は、さすが体育科！と感じることがたくさんありました。設備や専門科独自の実習はもちろん、共に入学した仲間がそれぞれの種目でスペシャリストであり、球技がとりわけ苦手だった私は、体育の度に感激し、ついていくのに必死で、何とか上手くなってやるんだという気持ちになっていました。陸上競技部では、「バトンは心」で挑んだ全国インターハイなどの試合だけでなく、仲間と共にヘトヘトになった練習の日々が私を鍛えてくれました。

専門科の実習では、毎回仲間との絆が深まっていくのが実感できました。キャンプ実習では杭作りスタッフチーフとして一心不乱にノコギリを挽いて杭を作り、ご飯は常に十二分目、水泳実習の「エーンヤコラ」のかけ声、スキー実習での長蛇のトレインは今でもはっきり覚えています。一人では弱音を吐いてしまいそうなときでも、みんながいたから頑張ることができました。何事も分担し、一人一人が責任を持ち、全員が一つの事に切磋琢磨し達成したあの満足感・達成感は味わってみないとわからないものだと思います。これは行事全てに共通しており、とりわけ桜高祭は、普通科、体育科関係なく、団を越えての感動があり、涙なくしては終われないものでした。私にとってかけがえのない3年間となったのは、何よりクラスや陸上部をはじめとする桜高の諸先生方や仲間たちが居たおかげです。桜高に入学して本当によかったです。こういった方々に出会えたことです。

私は現在、大阪市立中学校の保健体育の教員ですが、これからもたくさんの生徒や保護者、地域の方々、先生や職員の方に会う、人と触れ合う機会の多い仕事です。私自身、「会ってよかった」と感じていただけるような人間となれるよう、これからも桜高で培った気合とガッツで頑張っていきます！

私が高校生活で一番思い出に残っていることは、やはり桜高祭です。1年生のときは先輩方と一緒に「展示」の作品を作りました。夏休みも朝から学校へ行って夕方まで製作するのはとても楽しかったですし、普段話すことのない3年生の先輩とも話すことが出来ました。桜高祭のフィナーレではプロジェクトを使った表彰式や全校生徒でテーマソングを歌いました。今までの文化祭では味わったことの無い達成感を得るとともに、とても感動し、とても「アツい」学校だなと思いました。

生徒会執行部になってからは、行事の運営をさせていただき、行事を生徒みんなで作っていく大切さを学ぶことが出来ました。舞台のチーフをさせていただいたのですが、各団の舞台担当のみんなが道具を作ったり練習をしたりしている姿を見て、この「舞台」というパートをみんなで成功させていきたいと心から思いました。

2・3年生の時は選手や出演者としては参加できませんでしたが、生徒会のメンバーと全校生徒と力を合わせて作った桜高祭は、1年生の時とは全く違った感動と達成感を味わうことが出来ました。又、クラブでは放送部として3年間、体育祭でアナウンスをさせていただきました。部員は私一人でしたが、生徒会との活動と並行して音響をしたりナレーションをしたりと多くの活動をさせていただきました。

2年生で進路のことで悩んだとき、夏休みも相談に乗ってくださった先生方にとても感謝しています。私は最初、声優の専門学校へ行こうと思っていたので、幼児教育の道へ行くとは思ってもみませんでした。ですが専門学校へ行くのは働いてからでもいいけるという道を教えてくださいました。どの学校に行くかも相談に乗ってくださいました。実習は大変ですが、クラスの友達と仲良く学生生活を送っております。2回生で就職活動や実習など大変な時期ですが、桜高生らしくすべてをやりきっていきたいと思います。

陸上競技



◇競技成績◇

- 1997～2001・2003・2005・2006 全国IH出場
 1997 都道府県対抗女子駅伝出場
 1999 女子100mH国体出場
 2001 都道府県対抗男子駅伝出場、男子400mH国体出場
 2001 大阪高校総体女子総合優勝
 2005 全国IH女子3000m競歩「織田真美 6位入賞」

現在男子37名、女子23名、計60名で全国IH、全国高校駅伝出場を目指し短時間集中をモットーに日々トレーニングに励んでいます。すばらしい先輩方の足跡を踏みしめながら精一杯がんばらなければ、と思っております。

硬式野球



「甲子園出場！甲子園で桜高の校歌を歌いたい！」という熱い思いを胸に、毎日朝早くから遅くまで、「返事、挨拶、声、ダッシュ」の伝統を受け継いで練習に励んでおります。

近年は部員が100名を超え、大阪でも1、2を争う大所帯になっています。この10年間にも、激戦区大阪でベスト4、ベスト8に名を連ねながら、強豪私学の壁に悔しい思いをしているので、何とか壁を打ち破り、甲子園出場を目指します。今年1月、阪神タイガースの矢野輝弘選手にも激励に来ていただき、部員一同、より一層前向きにがんばっています。

ソフトボール



《最近の主な戦績》

- 2004 近畿公立大会 準優勝
 2005 近畿公立大会 優勝
 大阪府公立研修リーグ 優勝
 国体大阪選抜チーム 1名選出
 2006 インターハイ大阪予選 ベスト8
 大阪府公立研修リーグ 優勝
 国体大阪選抜チーム 2名選出

部員総数39名で大阪で一番多いチームになりました。次は大会で大阪一番を目指し、桜吹雪のユニフォームで奮闘中です。

男子バレーボール



男子バレーボール部は、1年から3年まで合わせて20名に満たない部員ですが、毎日の放課後、土曜、休日は終日、猛練習にあけくれています。私立の強豪校が多いなかで、公立高校の意地をみせ、インターハイ、近畿大会出場を目指して頑張っています。

顧問は酒井、坂本先生、南先生です。また、卒業生のOB、片山先生には手弁当でご指導いただいています。

◇過去の戦績◇

- 2003年 近畿高等学校優勝大会 出場
 2005年 春の高校バレー大阪府予選 ベスト8

女子バレー



卒業生であり元監督の栗山先生が校長として母校に帰って来られました。先輩たちのよき伝統に支えられ、選手たちも頑張っています。

- 2002年 近畿高等学校優勝大会 出場
- 2003年 近畿高等学校優勝大会 出場
- 2004年 全国高校総体大阪一次予選 1部優勝
- 2005年 近畿高等学校優勝大会 出場
- 2006年 全国高校総体大阪一次予選 1部優勝
近畿高等学校優勝大会 出場
近畿高等学校体育科大会 優勝

3年生15名、2年生13名、1年生12名の計40名で、全国大会上位入賞を目指し、日々練習に励んでいます。

- 2003年 全国高校総体大阪予選 優勝
全国高校総体 2回戦
- 2005年 全国高校総体大阪予選 優勝
全国高校選抜優勝大会大阪予選 優勝
全国高校総体 2回戦
- 2006年 全国高校総体大阪予選 準優勝
全国高校総体 ベスト8

男子バスケットボール



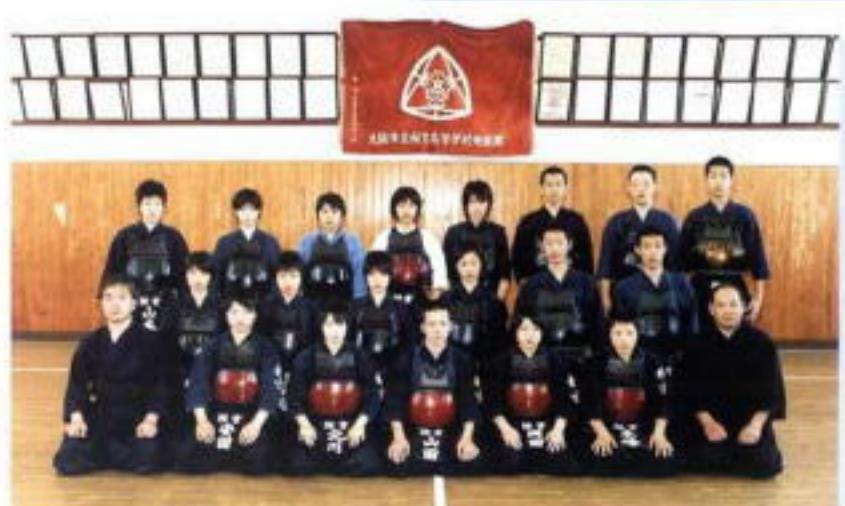
女子バスケットボール



- 2002年 全国高校総体大阪予選 第7位
- 2003年 全国高校選抜優勝大会大阪予選 第3位
- 2004年 全国高校選抜優勝大会大阪予選 第3位
- 2005年 全国高校総体大阪予選 ベスト16
全国高校選抜優勝大会大阪予選 ベスト16
- 2006年 全国高校総体大阪予選 第6位
近畿大会 2回戦進出
全国高校選抜優勝大会大阪予選 ベスト8

今年の近畿大会では、体育科が初めて初めて1回戦を突破することができました。この戦績は、卒業生の力があつてのことであると思います。次は、インターハイ出場ができるよう、目標に向かってがんばりたいと思います。

剣道



剣道を学ぶ事で人格を形成し、社会に貢献できる人作りを目標に、毎日の稽古に取り組んでいます。

インターハイ個人出場、国民体育大会優勝、近畿大会ベスト8等、各種大会でも優勝を目指してがんばっています。
「百練千錬」を合い言葉に、全国大会出場を目指します。

水泳



男子14名、女子20名で全国総体入賞を目指しています。
南口将志 H11全国総体200mIM 3位、400mIM第5位
中朋子 H12全国総体50mFr 6位 入賞

年度別総合順位	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
全国高校総合体育	←	出 場	→						出 場	出 場		
近畿高校選手権	←	出 場	→									
大阪高校総合体育	男子	7	6	5	8			5	5			8
	女子	4	3	4	7					7	6	7
大阪高校対抗	男子	6	8	4	3	6	7	4	優勝	3	8	6
	女子	3	2	2	2	5	8			5	3	3
大阪高校新人戦	男子	8	8	4	3			4	4		6	6
	女子	4	2	優勝	5	3		6		6	5	4

日々、「常にどんなことに対しても考え方、基本を大切にする」ことをモットーに、テニスコートで声を出して、元気に走りまわっています。

《主な戦績》

- 1997年 インターハイ出場（団体・個人）
- 1998年 インターハイ出場（団体・個人）
- 1999年 インターハイ出場（団体・個人）
- 2000年 インターハイ出場（個人）
- 2001年 インターハイ出場（個人）

男子ソフトテニス



女子ソフトテニス



現在2年生5名、1年生3名で毎日活発に練習しています。部員は少ないですが、元気に声を出してテニスコートを走りまわっています。

- 2003年 大阪高校春季大会 ベスト8
- 近畿大会（団体） 出場
- 公立大会（個人） ベスト8
- 2004年 公立大会（団体） 第3位
- 公立大会（個人） 準優勝
- 2005年 公立大会（個人） ベスト8

柔道



- 平成7年度 全国大会大阪府予選会女子団体戦1位
- 平成12年度 全国大会大阪府予選会
- 57kg以下級 第1位 河合眞美
- 平成13年度 大阪高等学校女子新人柔道大会
- 団体戦 第3位 近畿大会出場
- 平成16年度 全国大会大阪府予選会
- 48kg以下級 第3位 塩飽明香 近畿大会出場

現在9名の部員で毎日頑張っています。クラブも勉強も柔道精神の「精力善用」・「自他共栄」をモットーに励んでいます。また近隣の中学校や高校も練習に参加して頂いています。感謝しています。もう一度大阪に桜高柔道部の名を復活させたいと思っています。

サッカー



「全国で勝てるチームに！」をスローガンに日々努力をしているチームです。近年の戦績として記憶に新しいのが、前顧問で本校OBでもある西田先生の指導のもと平成16年全国高校選手権大会大阪予選において、ベスト4に進出したことです。大阪で一大旋風を巻き起こしました。現在は、全国へ手の届く足がかりを作ってくれた先輩方に負けじと進化を続けております。今後も期待に応えるサッカー部を目指していきたいと思っております。

「高校からテニスを始めてどこまで強くなれるのか」をモットーに約10年指導を続けてきました。平成13・18年度の「近畿大会出場の喜びを今一度」を胸にこれからも取り組んでいきたい。

- 2001年 大阪春季テニス大会 団体 16
大阪高校総合体育大会 ダブルス ベスト9
近畿大会 ダブルス 出場
- 2005年 大阪高校総合体育大会 ダブルス ベスト16
- 2006年 大阪春季テニス大会 団体 ベスト32
大阪公立大会 優勝
大阪総合体育大会 ダブルス ベスト8
近畿大会 ダブルス 出場

男子テニス



女子テニス



《1993年に創部 過去5年の主な戦績》

- 2002年 全国選抜大会大阪予選 第3位
- 2003年 大阪IH予選 ベスト8
全国選抜大会大阪予選 ベスト8
- 2004年 大阪IH予選 ベスト8
全国選抜大会大阪予選 ベスト8
- 2005年 大阪IH予選 ベスト8
- 2006年 大阪公立大会 優勝（7連覇）
大阪IH予選 ベスト8
近畿大会（シングルス）第3位

毎年、部員不足に悩みながらもがんばっています。
卒業生の中には大学に進学し、活躍している選手がたくさんいます。

◇過去10年間の主な戦績◇

- インターハイ 男子7年間 8種目出場
女子9年間 18種目出場
- 全国選抜 男女6年間 8種目出場
- 2004年 国体 男子シングルスカル 8位入賞
国体 男女4年間 6種目出場
- 2004年 近畿大会 男子蛇手付クォドルブル 優勝
その他 近畿大会 男女13種目 入賞

ボート



野外活動



5年ほど前は4、5名いた部員も、現在は2年生が1名のみです。人数が少ないながらも、市立大会には毎年参加しています。日頃は六甲山系や生駒など、近郊の日帰り登山を行っています。今夏は、富山県の室堂・雷鳥沢にテントを張り、立山や奥大日岳を登山する予定です。自炊生活をし、標高3千mの山頂からの風景に触れ、アウトドアの醍醐味を味わいたいと思います。

部活動 文化部

吹奏部



現在3年生7名、2年生4名、1年生3名の計14名で活動しています。一年間の活動は、春から夏にかけての地域のイベントや祭りへの出演に始まり、秋の桜高祭、芸術祭、御堂筋パレード等での発表、冬の大坂北地域の高校が集まり開く音楽会等への出演と続き、年度末にはOB・OGの参加を募り、定期演奏会を開催し、一年の活動を締め括ります。

普通科4クラスの為、部員が少なく、近年コンクールに出場できていませんが、種々の音楽会に積極的に参加し、調和と感動ある音楽作りに励んでいます。

2002年 アンサンブルコンテスト銀賞

茶道部

本館5F作法室にて、毎週木曜日の放課後（昨年までは水曜日）活動をしています。

お茶の点て方や茶室の作法、着物の着付け等、美しい日本文化の習得に日々励んでいますが、時々お稽古よりもおしゃべりに集中してしまうのが玉に傷です。

みんな仲良く、楽しいクラブです。



演劇部



近年、部員数が1～3名程度にとどまっており、演劇コンクールや市立高校の芸術祭に作品を出品することができない、という状態が続いている。しかし、夏季休業中に行われる演劇講習会に参加し、他校の生徒と交流を深めたり、芸術祭運営の手伝いをするなどささやかではありますが、活動を行ってきました。今は部員数を増やし、コンクールや芸術祭に作品を出せるようになることが目標です。



ALTの先生との会話を中心に活動しています。ゲームをしたり、英検に向けての学習もしています。

2005年度 大阪市高等学校オーストラリア訪問団選抜

2006年度 英検準2級1名合格

放送部

現在私たちは3年生2名、2年生2名の合計4名という少数で活動しています。

上下関係も厳しくないので皆仲良く楽しく放送活動をしています。

主な活動は、朝礼のある日にマイクの準備をしたり、集会の準備をしたりしています。2005年度からはお昼休みにいろんなジャンルの音楽を毎日流しています。体育祭でも、競技中に流す曲を編集したり、各種目の招集の放送をしたりしています。

少ない人数ながらも和気藹々とした雰囲気で楽しい放送部です。



生物部



生物部の部員は現在3年生2名、1年生4名の6名ですが、みんなで楽しく活動しています。

淀川でつりやあみで魚をとったり、情報処理教室でビデオを見たりしています。

今後、淀川の自然を研究するような活動ができればと考えています。

漫画研究部

毎年9月に行われる桜高祭の文化の部では、絵や小説を書いて冊子にし、来てくださった方に渡しています。

部員は3年3名、1年1名の合計4名です。漫画研究部というと皆さん少しきイメージがわかないと思います。主な活動は上に書いたとおり桜高祭で出す部誌です。その他には特にこれと言った活動はしていませんが、皆で楽しくお喋りしたり図書室で本を読んだりしています。

自分達の作った部誌をたくさんの人達に読んでもらえると嬉しい思います。



化学部



この10年間は所属部員がいない年度もありましたが、化学室の器具などを利用し、「豆腐作り」、「アイスクリーム作り」などを通じ化学変化のおもしろさ、奥深さを体験することに重きをおいて活動してきました。

美術部

夏休みには、「愛鳥週間」や「花と緑」のポスターなどに
出展したり、文化祭で1年間の活動の成果を発表しています。

部員数は少ないですが、各自頑張って活動しています。
新たなことにもチャレンジをしていきたいと思っています。

機会がありましたら、作品をご覧ください。



音楽部



フォークソング



図書部



平成18年度 教職員名簿

校長	栗山 善男			音 楽	角田 圭介		人 権
教頭	福井 秀起			書 道	菅沼 佐知子		生 指
国語	大槻 卓男	2-5	人 権	英 語	石井 正		進 路
	岡本 恵子		人 権		音部 みはる	2-1	健 康
	増山 久美子	1-6	教 務		川下 康男		人 権
	西郷 潤		教 務		後藤 明朗	3-7	健 康
	高垣 伊津子	3-3	教 務		坂本 幸一	1-4	進 路
	橋 往江		進 路		庄司 美千代		教 務
	豊田 誠		人 権		西村 浩一		特 活
	宮 泉		特 活		畠井 かおり		教 務
社会	浅井 信雄	3-1	主 任		原田 光代		生 指
	新居 幸雄		健 康		島田 恵美		図書・視聴覚
	田渕 幸男		進 路		市田 晴彦		教 務
	東川 武史	2-3	進 路		養護教諭	西田 美幸	健 康
	福原 和行		生 指			花松 亜由	健 康
	南 佳奈子	1-2	人 権		実習助手	秋田 美智子	図書・視聴覚
数学	浅沼 彰	3-4	特 活			山本 フサ子	教 務
	市川 正美		進 路		事務長	曾我部 友良	
	市村 浩隆		教 務		事務職員	古賀 万須子	
	酒井 正久	1-3	人 権			橋本 正恵	
	谷口 英一	2-4	主 任			森本 登己子	
	前田 裕司		進 路		学校図書館嘱託	田代 幸子	
	山崎 忠永		人 権		管理作業員	沓澤 博	
理科	岩崎 光裕	1-1	特 活			遠近健司	
	甲斐 透		教 務			永井 福美	
	濱田 哲也		図書・視聴覚			非常勤若年特別嘱託	安平聖弘
	濱本 盛夫	2-2	教 務			非常勤特別嘱託英語	川戸 せつ
	松田 行弘	3-2	進 路			非常勤国語	森本 順融
	森中 俊彦		教 務			非常勤情報・社会	多田 晃
保健体育	安達 和明	1-7	生 指		非常勤理科	山口 景生	
	位上 貴紀		生 指		非常勤保健体育	尾越 晶子	
	大橋 一郎	3-6	教 務			月見 茂雄	
	河野 由起子		生 指			矢野 剛	
	小島 浩		特 活		非常勤音楽	河田 潤	
	小西 明行	3-5	生 指		非常勤美術	石野 正人	
	小村 基		特 活		非常勤家庭	川畑 慶子	
	龍田 英和	2-7	生 指		非常勤自立支援	西村 有加	
	長沼 康治	1-5	主 任		A L T	橋本 千晶	
	松本 里美	2-6	特 活			Michael Mayes	
	森脇 哲郎		図書・視聴覚			Nathan Kemppainen	
	安岡 博志		健 康				
	山本 幸治		生 指				

歴代校長



初代 上道菊治
(大正5.2～大正8.11)



2代 豊田小八郎
(大正8.12～昭和2.3)



3代 橋本豊二
(昭和2.4～昭和12.4)



4代 原谷四郎一
(昭和12.4～昭和18.5)



5代 横尾真太郎
(昭和18.5～昭和23.9)



6代 熊澤信二
(昭和23.9～昭和25.3)



7代 山口清一
(昭和25.3～昭和27.4)



8代 村田徳次郎
(昭和27.4～昭和32.3)



9代 佐々木茂八
(昭和32.4～昭和42.3)



10代 立川正男
(昭和42.4～昭和45.3)



11代 草場 典夫
(昭和45. 4 ~ 昭和51. 3)



12代 森本 清
(昭和51. 4 ~ 昭和53. 3)



13代 宮森 美泰
(昭和53. 4 ~ 昭和55. 3)



14代 長村 治
(昭和55. 4 ~ 昭和61. 3)



15代 寺北 典男
(昭和61. 4 ~ 平成元. 3)



16代 石橋 善晴
(平成元. 4 ~ 平成4. 3)



17代 久野 祐滋
(平成4. 4 ~ 平成6. 3)



18代 吉村 良一
(平成6. 4 ~ 平成8. 3)



19代 宮本 威
(平成8. 4 ~ 平成11. 3)



20代 北 靖
(平成11. 4 ~ 平成14. 3)



21代 八木 経夫
(平成14. 4 ~ 平成17. 3)



22代 栗山 善男
(平成17. 4 ~)

平成18年度実施教育課程

1 年次 H18入学生

普通科

国語総合	現代社会	数学Ⅰ	数学A	理科総合A	理科総合B	体育	保健	2単位選択	芸術Ⅰ	英語Ⅰ	家庭総合	情報A	総合	HR
4	2	3	2	2	2	3	1						2	1

2年次 H17入学生

3 年次 H16 入学生

			10単位選択			2単位選択		3単位選択		3単位選択		1 1	
3	2	3	4	3	3								
現代文	体育	リーディング	古典	日本史演習	ライティング		数学演習Ⅰ	数学B	日本史特講	英語演習Ⅱ		総合 H R	
					実践英語		国語表現Ⅰ	国語演習	情報B	公民演習			
							選択体育	数学特講	生物Ⅱ	理科研究			
			数学Ⅲ	数学B	化学Ⅱ		日本史A	芸術Ⅲ	物理Ⅱ	総合芸術			

体育科

1 年次 H18入学生

0	5	10	15	20	25	30	32
4	2	3	2	2単位選択	4	2	2
国語総合	現代 社会	数学 I	理科総合 A	芸術 I	英語 I	家庭 基礎	数学 A
						体つくり 運動	選択 実技
						専攻 実技	スポーツ 科学基礎
						総合	H R
						野外 活動	

2年次 H17入学生

(スポーツ・日耳鼻咽喉科) (スポーツ科と同時開設)

3年次 H16入学生

				0	5	10	15	20	25	30	32
2	2	2	3 単位選択	3	2	3	4	2	2 単位選択	2	2 単位選択
			国語表現Ⅰ						運動 生理学		運動 生理学
			数学B								
			化学I						スポーツ エデュケーション		スポーツ エデュケーション
			英語演習Ⅱ						バイオ メカニクス		バイオ メカニクス
現代文	古典	世界史A	日本史演習	数学 演習	生物Ⅱ	英語演習Ⅰ (2クラス3展開)	体つくり 運動	課題 研究	総合	H	野外活動

(化学)以外はスクール科と同時に開講

(スポーツ健科と同時審査) (スポーツ健科と同時審査)

1年次 H18入学生

スポーツ健康科学科

	5	10		15	20		25		30	32
4	2	3	2	2単位選択	4	2	2	2単位選択	2	1
国語総合	現代社会	数学I	理科総合B	芸術I	英語I	家庭基礎	数学A	体つくり運動	選択実技	専攻実技

(スポーツⅠⅡⅢダンス)

2年次 H17入学生

	5	10		15	20		25		30	32
2	2	3	4	2	4	3	3単位選択	2	2	2単位選択
現代文	古典	日本史B	数学II	情報A	英語II	化学I	物理I 生物I	体つくり運動	専攻実技	運動生理学 スポーツコンディショニング バイオメカニクス

(体育科と同時展開)

3年次 H16入学生

	5	10		15	20		25		30	32
2	2単位選択	3単位選択	5単位選択	3単位選択	4単位選択 2 2		4	2	2	2単位選択
現代文	古典講読	国語表現I	日本史B	国語演習	運動生理学 数学演習I 物理II 生物II	英語演習I (1クラス2展開)	体つくり運動	課題研究	運動生理学 スポーツコンディショニング バイオメカニクス	1 1 1
	数学C	英語演習II	日本史A 化学II		数学III				総合 H R	野外活動

(体育科と同時展開)

(2時間連続)

(体育科と同時展開)

年間行事

4月	入学式	7月	期末考査	12月	期末考査
	始業式		スポーツ医科学実習		専門科特別講座
	専門科キャンプ実習		マリン実習		3年特別講座
	新入生歓迎会		水泳実習		芸術鑑賞
	定期健康診断		薬物乱用防止教育		合唱コンクール
	クラス写真撮影		団マッチ		終業式
	耳鼻科検診		終業式		1月 始業式
	負荷心電図		8月 団活動		修学旅行
5月	遠足		短縮授業		センター試験
	交通安全教育		9月 始業式		1年球技大会
	中間考査		専門科体験入学		2月 3年学年末考査
	進路説明		普通科学校見学会		体育集中授業
6月	実力テスト		桜高祭		前期選抜入試
	教育懇談		10月 1年進路指導		3月 卒業式
	科目選択説明		1・2年科目選択説明		1年専門科スキー実習
			11月 創立記念日		終業式
			1・2年進路希望調査		後期選抜入試
					合格者氏名点呼
					新入生X線撮影・心臓検診

過去3年間の主な進路先

大学

■国公立大学

北海道教育大学釧路校
埼玉大学
大阪外国语大学
奈良教育大学
鹿屋体育大学

福島大学
千葉大学
大阪教育大学
島根大学
横浜市立大学

筑波大学
静岡大学
兵庫教育大学
高知大学

■私立大学

びわこ成蹊スポーツ大学
佛教大学
大阪経済大学
大阪大谷大学
摂南大学
関西外国语大学
甲南大学
天理大学
法政大学

京都外国语大学
立命館大学
大阪工業大学
関西大学
桃山学院大学
藍野大学
園田学園女子大学
畿央大学
早稲田大学

京都産業大学
龍谷大学
大阪体育大学
近畿大学
関西福祉科学大学
関西学院大学
武庫川女子大学
日本体育大学
など

短期大学

龍谷大学短期大学
関西女子短期大学
武庫川女子大学短期大学

大阪信愛女学院短期大学
千里金蘭大学短期大学
など

関西外国语大学短期大学
常磐会短期大学

専門学校

関西看護専門学校
森ノ宮医療学園専門学校
など

大阪済生会野江看護専門学校
大阪社会体育専門学校

大阪府医師会看護専門学校
高津理容美容専門学校

就職

西日本旅客鉄道株式会社
医療法人錦秀会

東海旅客鉄道株式会社
サンゲツ

ダイハツ工業株式会社
など

公務員

大阪府警
など

大阪市消防局

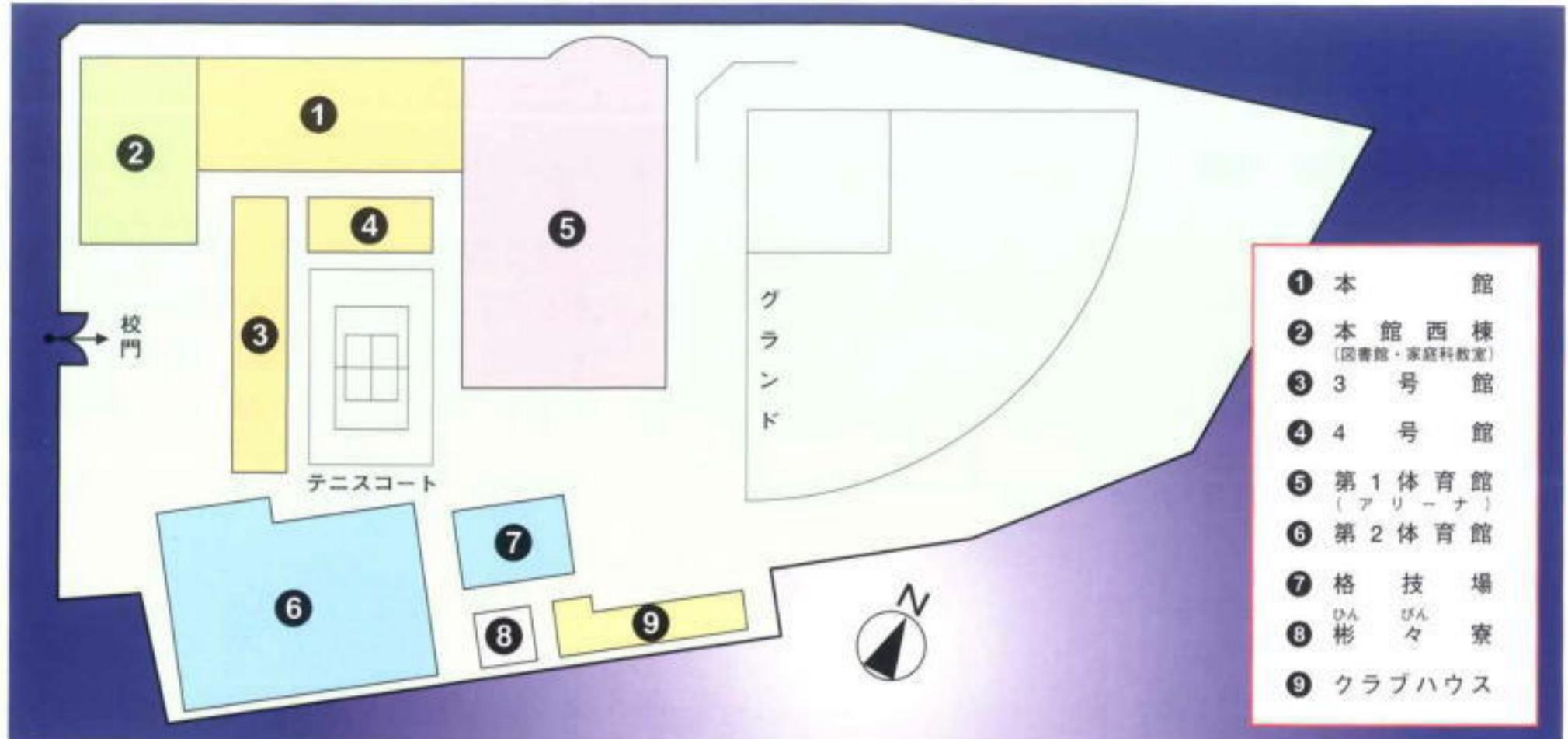
自衛隊

現況資料

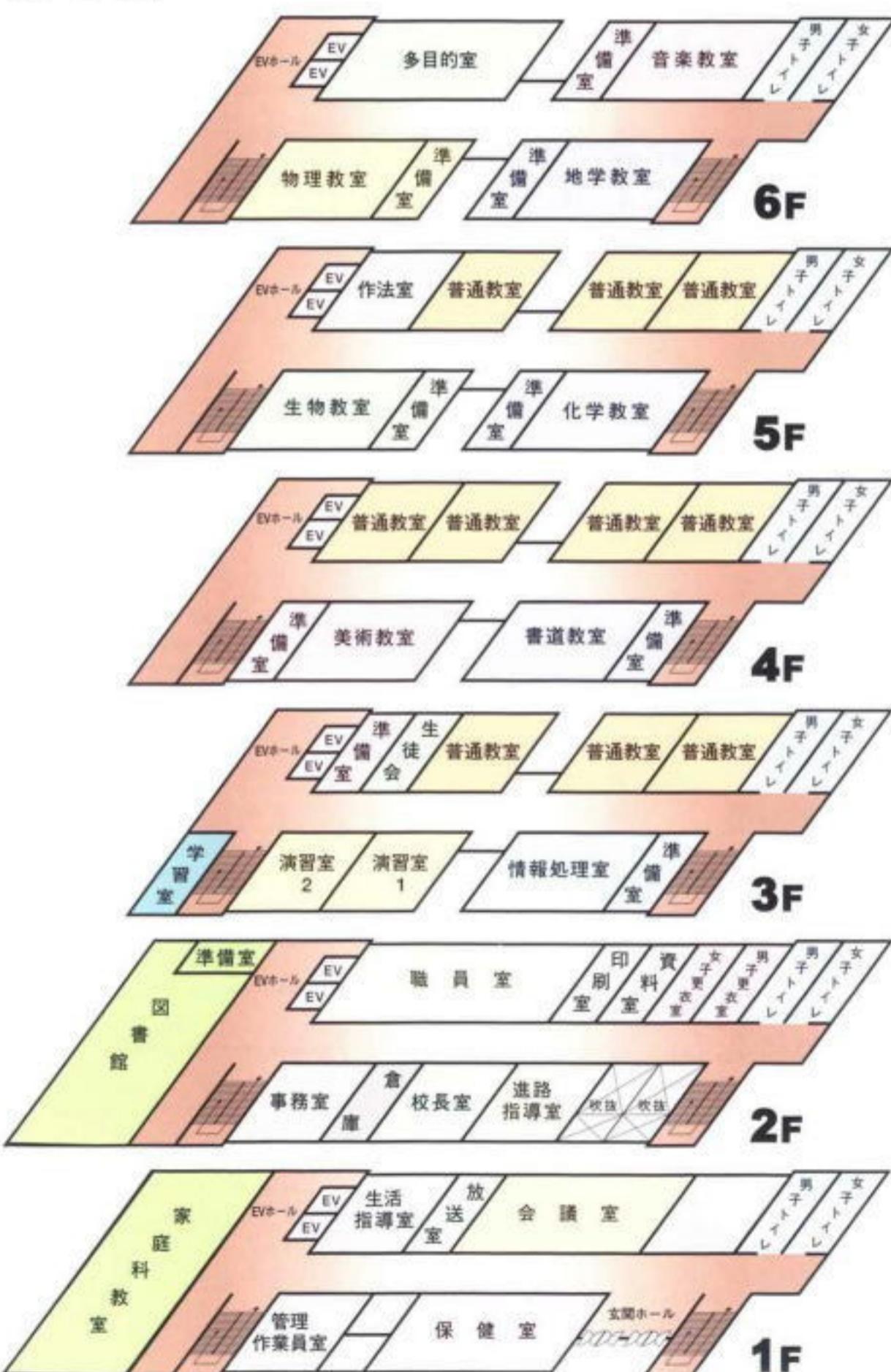
■ 卒業者数の推移

①大阪市立北区実科女学校時代 (大正8.3~昭和2.3)	725名／725名
②大阪市立実科高等女学校時代 (昭和3.3~昭和9.3)	911名／1,636名
③大阪市立桜宮高等女学校時代 (併設中学校時代を含む) (昭和10.3~昭和24.3)	2,378名／4,014名
④大阪市立桜宮高等学校時代 (昭和24.3~平成10.3)	17,239名／17,239名
	<div style="text-align: right; margin-right: 50px;"> 普通科 15,981名 (21,253名) 体育科 1,258名 </div>

	普通科	体育科	スポーツ健康科学科	合計／総計 (累計)
平成11.3	267名	77名		344名／17,583名 (21,597名)
12.3	218名	73名		291名／17,874名 (21,888名)
13.3	238名	73名		311名／18,185名 (22,199名)
14.3	193名	78名	38名	309名／18,494名 (22,508名)
15.3	194名	74名	38名	306名／18,800名 (22,814名)
16.3	189名	74名	37名	300名／19,100名 (23,114名)
17.3	191名	74名	39名	304名／19,404名 (23,418名)
18.3	155名	74名	40名	269名／19,673名 (23,687名)
19.3 (見込み)	160名	79名	39名	278名／19,951名 (23,965名)
合計	17,786名	1,934名	231名	19,951名 (23,965名)

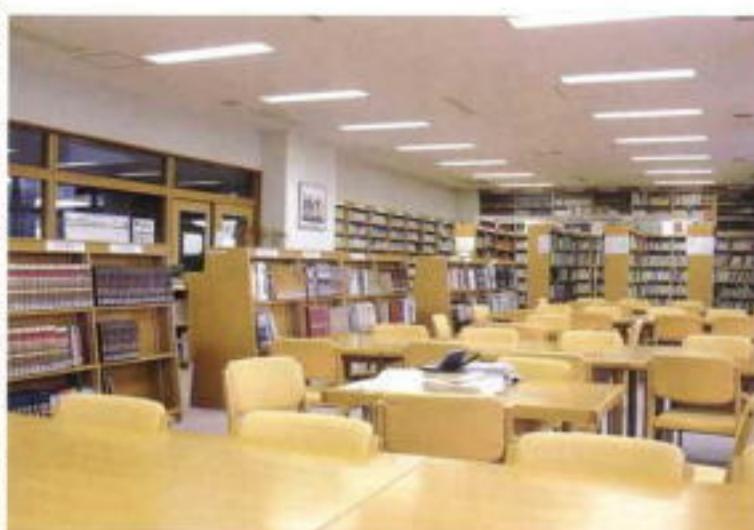


① 本館



各階のご案内

第一体育館		本館棟	
R	種類室	R	テニスコート
6	多目的教室・音楽教室 物理教室・地学教室	5	トレーニング実習室 ゼミ室 スポーツ情報処理室
5	普通教室・生物教室 化学教室・作法室	4	体力測定室 運動分析室
4	普通教室・国語教室 美術教室	3	実習管理室
3	普通教室・情報処理教室・満足度 生徒会室・小会議室・教員室	2	ランニングコース
2	校医室・事務室・職員室・印刷室 道徳教育室・資料室・図書室	1	体育管理室・更衣室 アリーナ・アクアエレネスプール
1	相談室・教務室・保健室・生徒会室 教員用室・保健室・会議室 放送室・教務室		
← エレベーターホール・階段		階段・第一体育館	→



図書室



作法室



アリーナ（第一体育館）



2階 エレベーターホール



トレーニング実習室



第二体育館



温水プール



アクアエレネスプール



柔道場



剣道場



屋上テニスコート

編集後記

今回の記念誌は、「創立八十周年記念誌」から「百周年記念誌」への橋渡し的な役割を持っており、この十年に絞った構成となりました。編集に着手したのが六月と準備期間のない中での原稿依頼、写真撮影、写真提供等ご無理を申し上げたにも拘らず、こころよくご協力、ご援助いただきました。本校現・旧職員、PTA、同窓会、後援会など多くの関係者の皆様には、心より感謝申し上げます。

しかしながら、この十年という中でも、散逸した資料も多く、実際と記述が一致していないものがあるかもしれません。そのような時は担当者までご一報いただければありがたく思います。

創立百周年に向けて、資料の収集は継続しております。当時を生き生きと伝える写真、エピソードがございましたら、ご寄贈、お教えいただきたいと思います。今後ともご協力をよろしくお願ひいたします。

90周年記念誌編纂委員会 (50音順)

浅井信雄 新居幸雄 田渕幸男
宮 泉 森本顕融 藤中俊彦

発行日 2006(平成18)年11月11日

発行 大阪市立桜宮高等学校
創立90周年記念事業実行委員会
大阪市都島区毛馬町5丁目22番28号
電話 (06)6921-5231

制作・印刷 株式会社 ダイビ
大阪市住吉区我孫子東2丁目10番15号
電話 (06)6692-6212
FAX (06)6692-8232

